資料2

＜意見発表大会 トラブル発生時の対応マニュアル＞

トラブル発生

発表者からの申し出「計時を止めてください」
※原則としてこちらからは発表を止めない

発表者からの申し出なし
※発表継続→発表終了→協議（協議終了まで質疑は行わない）

計時A継続

計時B，C中断

原因が発表者にあった場合

- 発表者の体調不良等

原因が当番校にあった場合

- マイクトラブル
- 停電
- ベルの間違い
- 騒音・雑音等

総務へ連絡・原因の確認
東連事務局・該当発表者・該当発表者引率顧問・管理職へ報告
審査員・顧問会議の有無の決定

発表棄権・発表再開

- 棄権の配点などは審査員会議で決定
- 計時Aを発表時間とする
- 発表時間が8分を超えた場合は打ち切り

発表再開または発表やり直し

- 計時B、Cの中断時間から発表を再開
- 発表やり直しの場合、発表順は審査員会議にて決定

発表継続

発表終了・質疑

- 棄権の場合は行わない
- 発表打ち切りの場合も質疑を行う

発表終了・質疑

発表終了
分野審査長判断

- 当番校側のトラブルが大きく影響し、発表者の不利益と判断した場合
→発表のやり直し（発表順位は審査員会議にて決定）
- 特に問題がなかった場合
→そのまま進行（質疑に入る）

質疑

※ トラブルが発生した場合は、原因を確認し、審査員会議で報告する。採点方法等について配慮が必要な場合は審議するものとする。